

甲子暮
春百穂寫



「竹林幽径」

画家としての百穂、歌人としての百穂、百穂と交流のあったひとたちについても紹介します。

平福百穂 画と短歌

—百穂をめぐるひとたち—

〈同時開催〉平福穂庵展(常設展示室)

令和6年

4月12日〔金〕～6月23日〔日〕

休館日 毎週月曜日 ※4月15、22、29、5月6日は開館
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
料 金 一般500円 小中学生300円 *仙北市民は無料

仙北市立角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4
電話 0187-543888 FAX 0187-5413890

平福百穂 画と短歌

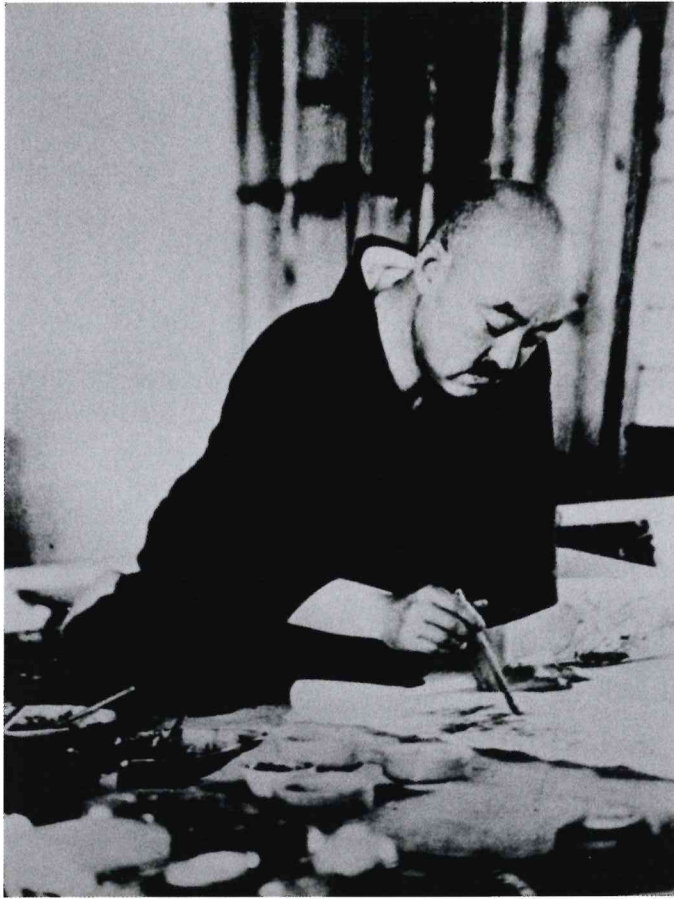
—百穂をめぐるひとたち—

仙北市角館町出身の日本画家・平福百穂(1877-1933)は日本画家としてだけではなく、アララギ派の歌人として活躍したことで知られています。

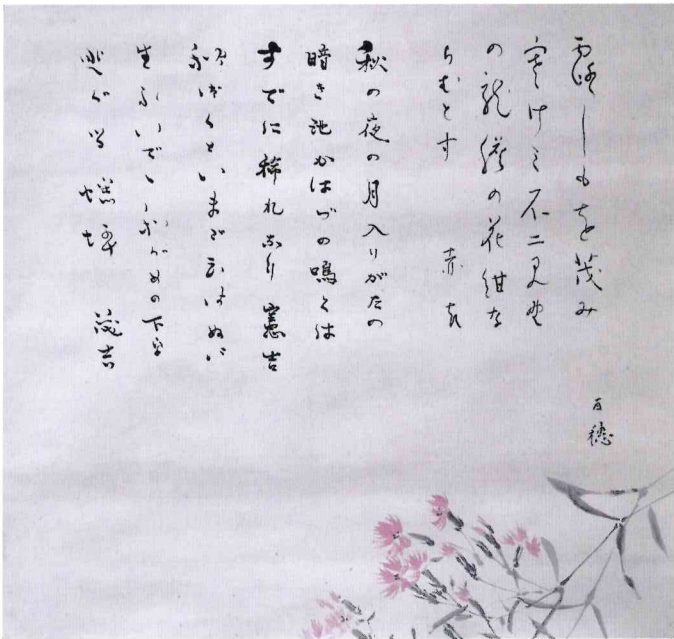
画家になるために十七歳で川端玉章(1842-1913)の画塾に入門しますが、画塾の塾生だった結城素明(1875-1957)と知り合ったことがきっかけで、素明から歌人・伊藤左千夫(1864-1913)を紹介され短歌の世界へも興味を持つこととなり、島木赤彦(1876-1926)、長塚節(1879-1915)、斎藤茂吉(1882-1953)、中村憲吉(1889-1934)といったアララギ派の歌人たちとの交流も広がっていきました。

今回、画家としての百穂と歌人としての百穂を紹介しつつ、百穂と交流のあった人たちについても紹介したいと考え、展覧会を企画しました。百穂がどんな人たちと関わりを持ちながら、どんな作品を描いたのかを知っていただく機会になれば幸いです。

角館町平福記念美術館



平福百穂



「アララギ歌人合作」



平福百穂「木槿の頃」



平福百穂「溪山白雲」



※さくらまつりの期間、駐車場は有料となります。